

営農ウィークリーNEWS

祝！新西南部経済センターオープン！



新西南部経済センター



オープンにあたり、
田村副組合長より
西南部経済センターの
職員に激励の言葉が
贈られました！



4月20日(火) JA 京都中央経済部西南部経済センターが移転し、新たにオープンを迎えました！

移転は、JAの経営基盤強化に係る支店・施設の再編整備計画によるもので、経済事業の経営効率の向上・事業量の拡大を図ることを目的としています。

店舗スペースが広がったため、肥料・農薬・生産資材・農具・食料品など幅広く取扱いをしています。また、生産資材においては大型の資材も店舗内で展示販売を行っています。

皆様、是非新しい西南部経済センターにお越しください！



広がった店舗スペースを活かし、様々な商品が展示販売されています！

—TAC information—

新西南部経済センター



住所 〒617-0005 京都府向日市向日町南山8

TEL (075) 932-0003

FAX (075) 932-0011

店舗営業日 平日及び土・日曜日 休業日 祝日

店舗営業時間

平日 ⇒ 午前9時～午後5時(従来どおり)

土・日曜日 ⇒ 午前9時～正午12時



みなさまの
ご来店を、
お待ちしております！



JA 京都中央

令和3年4月27日 NO.546 齊藤篤

注意報

3病第9号
令和3年4月15日

関係各位

京都府病害虫防除所長
(公印省略)

病害虫発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので送付します。

病害虫発生予察注意報第1号

作物名 ネギ・タマネギ
病害虫名 べと病
1 発生地域 府内全域
2 発生時期 4月～6月
3 発生量 例年比多い
4 注意報発令の根拠

(1) 京都府農林センター環境部が実施しているネギべと病の発生調査では、4月14日現在、南丹地域では発病株率2.6%、発生ほ場率44.4%、山城地域では同5.2%、同57.5%と非常に高くなっている(表1)(+)。

表1 ネギべと病の発生調査結果(令和3年)

調査地域	調査日	調査ほ場数											
		2月3日	2月10日	2月17日	2月24日	3月3日	3月10日	3月17日	3月24日	3月31日	4月7日	4月14日	
南丹地域	調査ほ場数	11	11	11	10	11	12	15	15	16	19	18	
	発病株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.3	1.5	0.4	0.5	0.9	2.0	0.2	2.6	
	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	20.0	90.9	33.3	46.7	37.5	10.5	44.4		
山城地域	調査ほ場数	17	16	19	19	25	24	26	27	27	32	33	
	発病株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.04	0.4	5.2		
	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	3.7	31.1	57.5	

*1ほ場あたり100株調査

(2) 当所の4月ネギ病害虫巡回調査で発生を認めており、4月に認めたのは5月にかけて多発した平成28年以來である(表2)(+)。

表2 巡回調査におけるネギべと病の発生状況

調査年	4月調査		5月調査	
	発病株率(%)	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)
令和3年	1.5	25.0		
令和2年	0.0	0.0	0.0	0.0
平成31年(令和元年)	0.0	0.0	0.0	0.0
平成30年	0.0	0.0	2.2	33.3
平成29年	0.0	0.0	4.7	33.3
平成28年	21.6	60.0	13.1	85.7
平成27年	0.0	0.0	0.0	0.0
平成26年	0.0	0.0	0.0	0.0

*各月の第3、4半旬に、1ほ場あたり2株調査

(3) 向こう1か月の気温および降水量は平年並と予想されている。

5 防除上の留意事項

- 平均気温が15～20℃前後で、降雨の多いときに発生が多くなるので、曇雨天が続く場合は、発生に注意する。
- ほ場の水はけの悪い箇所から本病が発生しやすくなるので、排水に努める。
- 発病前や発生初期から定期的に登録のある殺菌剤(表3)を散布し、まん延(二次伝染)防止に努める。また、使用薬剤は異なる系統のものを使い、同一系統の薬剤の連用は避ける。
- 被害葉は、翌年の発生源となるので、収穫後の被害葉は集めてほ場外に持ち出し、土中深くに埋めて処分する。



写真1 べと病の被害葉 (発生初期、破線内)



写真2 葉上に形成したべと病菌分生胞子



写真3 べと病の被害葉



写真4 べと病の被害株

表3 「ネギ」でべと病に登録のある主な農薬

FRACコード*	農薬名	希釈倍数・使用量	使用時期	使用回数	使用方法	総使用回数	備考
4(A1) M3(M)	リドミルゴールドMZ	1,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	マンゼブ(シマンダイセン:FRACコード:M3(M)3回以内) メタラキシル及びメタラキシルM(リミル:FRACコード:4(A1)5回以内(但し、種子への処理は1回以内、土壌灌漑は1回以内、散布は3回以内))	
4(A1) M05(M)	フォリオゴールド	800～1,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布**	メタラキシル及びメタラキシルM(FRACコード:4(A1)5回以内(但し、種子への処理は1回以内、土壌灌漑は1回以内、散布は3回以内)) TPN(FRACコード:M05(M))4回以内(但し、土壌灌漑は1回以内、散布は3回以内)	
39(C1)	ハチハチ乳剤	1,000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布	トルファンピラト(FRACコード:39(C1))2回以内	殺菌剤 FRACコード:21A
7(C2) M05(M)	ベジセイバー	1,000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布	ベンチオビタール(FRACコード:7(C2))4回以内(但し、株元灌漑は2回以内、散布は2回以内) TPN(FRACコード:M05(M))4回以内(但し、土壌灌漑は1回以内、散布は3回以内)	黒斑病、さび病、白絹病、葉枯病、葉枯病、小菌核腐敗病
11(C3)	アミスター20フロアブル	2,000倍	収穫3日前まで	4回以内	散布	アズキストロピン(FRACコード:11(C3))5回以内(但し、殺菌剤は1回以内、水和剤は4回以内)	黒斑病、さび病、葉枯病、リフトニア葉鞘腐敗病
11(C3)	メジャーフロアブル	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	ピコキストロピン(FRACコード:11(C3))3回以内	黒斑病、さび病、葉枯病
11(C3) M05(M)	アミスターオプティフロアブル	1,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布**	アズキストロピン(FRACコード:11(C3))5回以内(但し、殺菌剤は1回以内、水和剤は4回以内) TPN(FRACコード:M05(M))4回以内(但し、土壌灌漑は1回以内、散布は3回以内)	黒斑病、さび病、葉枯病、小菌核腐敗病
21(C4)	ランマンフロアブル	2,000倍	収穫3日前まで	4回以内	散布**	シアゾファミド(FRACコード:21(C4))4回以内	
21(C4) M05(M)	ドーシャスフロアブル	1,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	シアゾファミド(FRACコード:21(C4))4回以内 TPN(FRACコード:M05(M))4回以内(但し、土壌灌漑は1回以内、散布は3回以内)	黒斑病
45(C8) 40(H5)	ザンブロDMフロアブル	1,500～2,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	アトフラジン(FRACコード:45(C8))3回以内 ジメモルフ(FRACコード:40(H5))3回以内	
3(G1) M03(M)	テーク水和剤	600倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	ジメモルフ(FRACコード:3(G1))3回以内 マンゼブ(FRACコード:M03(M))3回以内	黒斑病、さび病、葉枯病
40(H5)	フェスティバル水和剤	2,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	ジメモルフ(FRACコード:40(H5))3回以内	
40(H5) M01(M)	フェスティバルC水和剤	1,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	ジメモルフ(FRACコード:40(H5))3回以内 塩基性硫酸銅(FRACコード:M01(M))	
40(H5) M03(M)	フェスティバルM水和剤	1,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	ジメモルフ(FRACコード:40(H5))3回以内 マンゼブ(FRACコード:M03(M))3回以内	
40(H5)	レーバスフロアブル	2,000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布	マンゼブ(FRACコード:40(H5))2回以内	
40(H5) M05(M)	プロボーズ顆粒水和剤	1,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	ベンチオビタール(FRACコード:40(H5))3回以内 TPN(FRACコード:M05(M))4回以内(但し、土壌灌漑は1回以内、散布は3回以内)	葉枯病
P07(P7)	アリエッティ水和剤	800倍	収穫3日前まで	3回以内	散布	ホセチル(FRACコード:P07(P7))3回以内	疫病
27(U) 40(H5)	ベトファイター顆粒水和剤	2,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	シモキサリル(FRACコード:27(U))4回以内 ベンチオビタール(FRACコード:40(H5))3回以内	
M01(M)	Zボルドー	500倍	—	—	散布	塩基性硫酸銅(FRACコード:M01(M))	野菜類
M01(M)	クプロシールド	1,000～2,000倍	—	—	散布	塩基性硫酸銅(FRACコード:M01(M))	野菜類
M01(M)	ヨネポン水和剤	500倍	収穫7日前まで	4回以内	散布	ニルファンノールホソ酸銅(FRACコード:M1(M))4回4回以内	黒斑病、さび病、葉枯病、軟腐病
M03(M)	ジマンダイセン水和剤	600倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	マンゼブ(FRACコード:M03(M))3回以内	黒斑病、さび病
M05(M)	ダコニール1000	1,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	TPN(FRACコード:M05(M))4回以内(但し、土壌灌漑は1回以内、散布は3回以内)	黒斑病、さび病、葉枯病、小菌核腐敗病

*FRACコード(殺菌剤コード)。殺菌剤の有効成分を作用点と作用機構から分類した番号や記号のことで、本コードが異なる薬剤を使用することにより、同一系統の薬剤の連用を防ぐことができる。

U:作用機構が不明あるいは不明確な薬剤 M:多作用点接触活性をもつ薬剤

**散布液量:フォリオゴールドおよびアミスターオプティフロアブルは100～400L/10a。ランマンフロアブルは150～300L/10a。その他の薬剤は、100～300L/10a。

(令和3年4月7日現在)